

## 競技規則緊急改定

1 2019年3月10日～11日今年の世界選手権開催地であるカタールのドーハで IAAF のカOUNシルミーティングが開催され、技術委員会提案の競技規則修改正案が可決され、特に緊急性の高い数件が即時発効となった。日本陸上競技連盟競技運営委員会において検討した結果、2020年東京オリンピック参加者の半数は IAAF のランキングシステムにより決定することが提示されたこと、近年日本人競技者が世界大会へ参加する機会が増大していること、そしてランキングシステムを見据えて国内でもアジアパーミット競技会が増加したこと等から、国際規則に基づく競技会運営は必須であると考えた。しかしながら全国競技運営責任者会議において伝達した後ではあるが国内、国外とも大きな影響を及ぼさないであろう規則については混乱を避けるためにも今回提案せず次年度送りとし、以下2点について改定する。

### ① 第 180 条 17 遅れ フィールド競技の試技に許される時間

2018 年度に 30 秒に短縮された時間を 2017 年度以前のものに戻す。30 秒→1 分

### ② 第 230 条 7 「ピットレーン」→「ペナルティゾーン」